不動産・地域活性化シンポジウム 2026

国立大学法人等の施設整備を考える

～　動向・政策の変化と近年の事例から　～

【オンライン開催】

主　催　　定期借地権推進協議会
後　援　　一般財団法人　都市農地活用支援センター
　　一般社団法人　プレハブ建築協会
　　一般財団法人　住宅生産振興財団

趣　旨

国立大学が 2004 年４月に法人化してから 20 年以上が経過し、その間に、国の認可のもとで国立大学法人等が保有する土地を第三者に貸し付けられるようになるなど、運営の自主性を高める仕組みが整備されてきた。その一方、現在の主な大学進学者とされる日本の「18 歳人口」は、現在の約 110 万人から 2040 年には約 74 万人へ減少する見込みであるなど、国立大学法人等を取り巻く環境や政策は大きな変化の中にある。本シンポジウムでは、この大きな変化の動向や国立大学法人等の施設の現状を確認した上で、国立大学法人等が工夫を凝らして多様な施設整備に取り組む事例を紹介することを通じ、様々な立場の方が国立大学法人等の施設整備について知り、考えることのできる機会を提供したい。

開催日時　2026 年 12 月 18 日（金）14：50～17：30

参加費　**無料**　どなたでもご参加頂けます。オンライン先着 500 名まで。

お申し込み

ご参加希望の方は、下記 URL もしくは、QR コードよりお申込みください。
https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_j7xjbyJhTwSbOfeYoQdT4A
※ WEB サイトにアクセスできない場合は、
・氏名
・会社（団体）名
・所属部署
・住所
・E-mail
・電話番号
を記載の上、下記問い合わせ先宛にご連絡ください。

お問い合せ

定期借地権推進協議会事務局　事務局：　㈱プレイスメイキング横浜（担当：谷口）
E-mail：taniguchi@placemaking.jp

スケジュール　裏面をご覧ください。

ウェビナー接続開始　　14：35 から
14：50～14：55　開会挨拶　　定期借地権推進協議会委員長　　大木　祐悟　氏

14：55～15：50　第一部　基調講演

基調講演（1）　国立大学法人等の施設整備を考える　～ 動向･政策の変化と近年の事例から ～
文部科学省 大臣官房文教施設企画･防災部 計画課　専門官　安部田 康弘 氏



【略歴】
2002 年長崎大学経理部契約室に入職。その後文部科学省に転任し、高等教育局国立大学法人支援課、同局大学振興課、同局私学部参事官付学校法人経営指導室など、主に大学行政に関わる部署での業務に従事。
2018 年 4 月から国立大学法人小樽商科大学学生支援課長、国立大学法人九州大学学務部学務企画課長、国立大学法人東京外国語大学総務企画部会計課長を歴任。2026 年 4 月より、現職にて国立大学法人等の施設に関する業務を担当。

15:50～17：10　第二部　事例発表

事例発表(1) 九州大学 箱崎キャンパス跡地のまちづくり(30分)
独立行政法人都市再生機構 九州支社 都市再生業務部　**担当部長**　　杉 勝智 **氏**



【略歴】
1995 年、住宅･都市整備公団(現都市再生機構)入社。UR 賃貸住宅の新規建設･建替事業、土地利用事業に加え都市再生業務に従事し、多様な事業スキームの構築･推進に携わる。
2016 年に東日本賃貸住宅本部ストック事業推進部事業第 4 課長、2020 年に九州支社住宅経営部ストック再編事業課長、2025 年に九州支社住宅経営部担当部長などを歴任。
2026 年 4 月より九州大学箱崎キャンパス跡地におけるまちづくりを担当。

事例発表(2) 民間のクリエイティビティを発揮する公共不動産活用 (25分)
公共Ｒ不動産　(株式会社オープン･エー)　プロジェクトマネージャー　　菊地 純平 氏



【略歴】
2017 年、UR 都市機構に入社し団地活用･再生等を担当。その後、2019 年に株式会社オープン･エー／公共Ｒ不動産へ入社。公共空間活用プロジェクトの推進、メディア運営、組織バックオフィスなど多岐にわたる業務に携わる。共著に『パークナイズ 公園化する都市』『テンポラリーアーキテクチャー：仮設建築と社会実験』。

事例発表(3) 国立大学所有地の第三者貸付制度を利用した ～一般定借分譲マンション事業～(25分)
ミサワホーム株式会社まちづくり事業本部開発事業部 開発事業部担当部長　　池上 智宏 氏



【略歴】
1997年4月信州ミサワホーム入社(現ミサワホーム甲信）、戸建部門、リフォーム部門、開発部門、管理部門を経験し、2016年10月より PM としてマンション企画･推進業務に従事。
2024年4月にミサワホームまちづくり事業本部へ出向、2026年4月にミサワホームへ移籍し現職

17:10～17：30　第三部　パネルディスカッション「土地資産を有効に活用する」

（ パネラー ） 文部科学省 大臣官房文教施設企画･防災部 計画課 専門官　安部田 康弘 氏
UR都市機構 **九州支社都市再生業務部 担当部長**　杉 勝智 氏
公共Ｒ不動産 **（株式会社オープン･エー）**　菊地 純平 氏
ミサワホーム株式会社 まちづくり事業本部開発事業部担当部長　池上 智宏 氏
（モデレーター）定期借地権推進協議会委員長　大木 祐悟 氏

17：30　　終了
講演の演題につきましては変更になる場合があります。